

# 製品安全データシート

## 製造者情報

会 社：柳瀬株式会社  
住 所：兵庫県丹波市山南町谷川1385番地  
電話番号：0795(77)2151 FAX番号：0795(77)2535  
作成(改訂)：平成27年1月30日 整理番号：MSDS-X010

製品番号 YHK-52

## 危険有害性の要約

### GHS分類

#### 健康に対する有害性

- ・呼吸器感作性 区分1
- ・皮膚感作性 区分1
- ・特定標的臓器毒性(反復暴露) 区分1(肺)

#### 環境に対する有害性

- ・水生環境急性有害性 区分1
- ・水生環境慢性有害性 区分1

上記に記載がない危険有害性は、分類対象外か分類できない。

### GHSラベル要素

#### シンボル



#### 注意喚起語

- ・危険

#### 危険有害性情報

- ・アレルギー性皮膚反応を引き起こすおそれ
- ・吸入するとアレルギー、ぜん息又は呼吸困難を起こすおそれ
- ・長期又は反復暴露による肺の障害
- ・水生生物に非常に強い毒性
- ・長期的影響により水生生物に非常に強い毒性

#### 注意書き

#### 安全対策

- ・取扱い後はよく手を洗うこと。
- ・この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。
- ・汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
- ・環境への放出を避けること。
- ・保護手袋を着用すること。
- ・換気が十分でない場合には、呼吸用保護具を着用すること。

#### 救急措置

- ・皮膚に付着した場合、多量の水と石鹼で優しく洗うこと。
- ・吸入した場合、呼吸が困難な場合には、新鮮な空気のある場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
- ・気分が悪いときは、医師の手当て、診断を受けること。
- ・特別な処置が必要である。
- ・皮膚刺激又は発疹が生じた場合は、医師の診断、手当てを受けること。
- ・呼吸に関する症状がでた場合には、医師に連絡すること。
- ・汚染された衣類を再使用する場合には洗濯すること。
- ・漏出物は回収すること。

#### 廃棄

- ・内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

## 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別      混合物

成分	濃度又は濃度範囲	化学特性	官報公示整理番号		CAS 番号
			化審法	安衛法	
酸化クロム (Ⅲ)	30%	Cr <sub>2</sub> O <sub>3</sub>	(1)-284		1308-38-9
酸化アルミニウム	13%	Al <sub>2</sub> O <sub>3</sub>	(1)-23		1344-28-1
脂肪酸	9.5%	非公開	非公開		非公開
鉱物油	3.0%	非公開	非公開		非公開
活性剤	4.5%	非公開	非公開		非公開
イオン交換水	40%	H <sub>2</sub> O	対象外		7732-18-5

分類に寄与する不純物      ・ 情報なし

及び安定化添加物

労働安全衛生法

・ 名称等を通知すべき危険物      クロム及びその化合物 (政令番号:142) (30%)  
及び有害物 (法第 57 条の 2、  
施行令第 18 条の 2 別表第 9)

酸化アルミニウム (政令番号:189) (13%)

化学物質排出把握管理

・ 第 1 種指定化学物質 (法第 2      クロム及び三価クロム化合物 (クロムとして)  
条第 2 項、施行令第 1 条別表      (政令番号:87) (20%)  
第 1)

応急措置

吸入した場合

・ 新鮮な空気のある場所に移し、安静にさせる。

皮膚に付着した場合

・ 水または温水で洗い流した後、石鹸を使い洗い落とす。

目に入った場合

・ 擦らず眼を開いて清浄な水で洗い流す。痛みや残留物があるときは速やかに医師の手当てを受ける。コンタクトレンズを使用している場合は、固着していない限り、取り除いて擦らずに洗い流す。

飲み込んだ場合

・ 水で口の中を洗浄し、多量の牛乳、卵白などを飲ませた後吐き出させ、速やかに医師の手当てを受ける。

火災時の措置

消火剤

・ 水、泡沫、粉末、炭酸ガスなど

特有の消火方法

・ 容器は風上の安全な場所に移し、大量の散水にて消火する。

漏出時の措置

人体に対する注意事項、

・ 作業の際には必ず保護具 (保護フェイス、保護手袋、保護衣等) を着用する。

保護具および緊急措置

環境に対する注意事項

・ 河川や湖沼等へ排出されないように注意する。

回収・中和

・ ウェス等で拭き取り、プラスチック容器に回収する。

・ 大量の場合、ロープ等を張り立入禁止とする。

・ 河川や湖沼等へ排出されないように注意し、保護具を着用し回収する。

取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

・ 本品自身は自然発火性を有しないが、マグネシウムやアルミニウムを研磨した場合の研磨屑 (バフ滓) は水と反応して水素を発生し、空気と混合して発火することがある。

- 局所排気・全体換気
  - ・研磨作業で生じる粉塵を吸入または目に入れたりしないため、研磨作業場は排気装置を設け、防塵マスクや保護眼鏡を着用して研磨を行う。
  - 作業後はうがい、手洗いなどを行う。
- 安全取扱注意事項
  - ・強酸性物質、強アルカリ性物質との接触や混合は避ける。
- 保管
  - 保管条件
    - ・直射日光の当たらない、水のかからない冷暗所に保管する。
    - ・強酸性物質、強アルカリ性物質等から離して保管する。
  - 容器包装材料
    - ・弊社より供給した容器を使用。

## 暴露防止及び保護措置

### 管理濃度、許容濃度

	管理濃度（厚生労働省）	許容濃度（産衛学会）	ACGIH
酸化クロム	未設定	0.5mg/m <sup>3</sup> (Crとして)	TWA0.5mg/m <sup>3</sup> (asCr(III))
酸化アルミニウム	未設定	【粉塵許容濃度】(第1種粉塵) 吸入性粉塵 0.5mg/m <sup>3</sup> 総粉塵 2mg/m <sup>3</sup>	TWA 1mg/m <sup>3</sup> (R)

- 設備対策
  - ・研磨作業により粉塵が生じるため、研磨作業場には集塵装置が必要である。
  - ・作業所の近くに、洗眼や身体洗浄設備を設けることが望ましい。

### 保護具

- 呼吸器の保護具
  - ・防塵マスク等
- 手の保護具
  - ・保護手袋等
- 眼の保護具
  - ・保護眼鏡等
- 皮膚及び身体の保護具
  - ・安全靴等

## 物理的及び化学的性質

### 物理的状态

- 形状
  - ・ペースト
- 色
  - ・緑色
- 臭い
  - ・無臭
- pH
  - ・中性
- 融点／凝固点
  - ・情報なし
- 沸点、初留点及び
  - ・情報なし
- 沸騰範囲
- 引火点
  - ・引火せず
- 自然発火温度
  - ・情報なし
- 燃焼性(固体、ガス)
  - ・情報なし
- 燃焼又は爆発範囲
  - ・情報なし
- 蒸気圧
  - ・情報なし
- 蒸気密度
  - ・情報なし
- 蒸発速度(酢酸ブチル=1)
  - ・情報なし
- 比重(密度)
  - ・1.5
- 溶解性
  - ・水と任意に溶解・懸濁する
- オクタノール／水分配係数
  - ・情報なし
- 分解温度
  - ・情報なし
- 粘度
  - ・情報なし
- 粉じん爆発下限濃度
  - ・情報なし

- 最小発火エネルギー
  - 体積抵抗率(導電率)
- ・情報なし
  - ・情報なし

## 安定性及び反応性

- 安定性
  - 危険有害反応可能性
  - 避けるべき条件
  - 混触危険物質
  - 危険有害な分解生成物
- ・室温で安定である。
  - ・水との反応性はない。
  - ・高温に加熱しない。
  - ・強酸性物質、強アルカリ性物質
  - ・情報なし

## 有害性情報

- 急性毒性
  - 酸化クロムとして
  - 急性毒性：経口
  - 酸化アルミニウムとして
  - 急性毒性：経口
- ・情報なし
  - ・データなし
  - ・ラット LD50>5000mg/kg(IUCLID(2000))の記載より区分外とした。

## 環境影響情報

- 環境に対する有害性
  - 生態毒性
  - 土壤中の移動性
- ・情報なし
  - ・情報なし
  - ・データなし

## 廃棄上の注意

この製品自体を廃棄しようとする、水質汚濁防止法の排水基準（生活環境項目）に許容濃度を定めており、廃棄物の処理および清掃に関する法律の産業廃棄物に相当し、これらの関係法令を遵守する必要がある。

- 残余廃棄物
  - 汚染容器及び包装
- ・大量の場合：処理を外部に委託する。産業廃棄物のマニフェストを交付する必要あり。
  - ・少量の場合：焼却または産業廃棄物業者に委託する。
  - ・空容器は焼却または産業廃棄物業者に委託して処分する。

## 輸送上の注意

### 国際規制

- 海上規制情報
  - UN No.
  - Proper Shipping Name.
  - Class
  - Packing Group
  - Marine Pollutant
  - 航空規制情報
  - UN No.
  - Proper Shipping Name.
  - Class
  - Packing Group
- ・IMOの規定に従う。
  - ・3082
  - ・ENVIRONMENTALLY HAZARDOUS SUBSTANCE, LIQUID, N.O.S
  - ・9
  - ・III
  - ・P
  - ・ICAO/IATAの規定に従う。
  - ・3082
  - ・ENVIRONMENTALLY HAZARDOUS SUBSTANCE, LIQUID, N.O.S
  - ・9
  - ・III

### 国内規制

- 陸上規制情報
  - 海上規制情報
  - 国連番号
- ・労働法に定められている運送方法に従う。
  - ・船舶安全法の規定に従う。
  - ・3082

品名	・環境有害物質（液体）
クラス	・9
容器等級	・Ⅲ
海洋汚染物質	・P
航空規制情報	・非危険物
国連番号	・3082
品名	・環境有害物質（液体）
クラス	・9
容器等級	・Ⅲ
特別安全対策	・運搬に際して、水漏れ湿気に注意し、容器からの漏れの無いことを確かめ、転倒、落下、破損の無いように積み込み、荷崩れの防止を確実にを行う。
緊急時応急措置指針番号	・171

## 適用法令

労働安全衛生法	・名称等を通知すべき危険物及び有害物（法第57条の2、施行令第18条の2別表第9）
外国為替及び外国貿易法	・輸出貿易管理令別表第1の16の項（2）
船舶安全法	・有害性物質（危規則第2、3条危険物告示別表第1）
航空法	・その他の有害物件（施行規則第194条危険物告示別表第1）
化学物質排出把握管理促進法 PRTR法）	・（第1種指定化学物質（法第2条第2項、施行令第1条別表第1）
毒物及び劇物取締法	・該当しない
消防法	・該当しない
水質汚濁防止法	・該当する
海洋汚染及び海上災害の防止に 関する法律	・海洋汚染物質
廃棄物の処理及び清掃に関する 法律	・産業廃棄物

## その他の情報

- ・本データシートは、化学製品の工業的な一般的取り扱いに際しての安全な取り扱いについて最新の情報を集めたものであるが万全ではありません。
- ・新たに情報を入手した場合は追加または訂正されることがあります。
- ・化学製品の他の化学物質を混合したり、特殊な条件で使用するときは別途、安全性の評価を実施願います。
- ・本データシートは保証値ではありません。